壁新聞にご利用ください。

発　行
社団法人 横浜港防犯協力会
横浜市中区海岸通1－1
電話（201）2982番
印刷所　㈲ハマ印刷
TEL(260)0266

新年のご挨拶

社団法人横浜港防犯協力会
会長　藤木　幸太

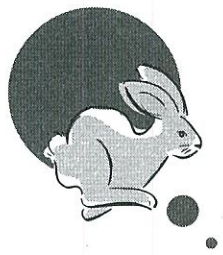
新年明けましておめでとうございます。

横浜港防犯協力会会員並びに横浜水上警察署関係団体の皆様には、健やかに新春をお迎えになられたことと、心よりお慶び申しあげます。日頃皆様より、当防犯協力会運営に関し多大なるご支援ご協力を賜わりまして、厚くお礼申しあげます。

さて、昨年は十一月に「APEC（アジア太平洋経済協力）首脳会議」が横浜のみなとみらい地区で開催され、横浜水上警察署は横浜港と会議会場に近接する新港地区を中心に、APEC首脳会議警備の最重点地区を担当いたしました。全国から警備応援のため警察官が横浜に集まり、隙を見せない万全の警備体制が整い、横浜は「APEC首脳会議」において、安全・安心な街を海外に広く印象付けることができました。近年諸外国での国際経済会議において、反グローバリズムを掲げる組織による過激な反対運動が多数発生し、国際テロがその牙をむくチャンスを狙っております。横浜でも混乱が懸念されておりました。しかし、官民合同の徹底した安全・安心の取組により完全に抑え込む事ができました。先ずはこの場をお借りして、横浜水上警察署の署員の皆様並びにAPEC警備を応援するため横浜に集まった全国の警察官の皆様に厚くお礼申しあげます。

横浜市は一昨年、人口十万人当たりの刑法犯認知件数が全国政令都市の中で最少を記録いたしました。昨年もこの傾向は続き、刑法犯認知状況を見ますと犯罪の発生件数が減少し、検挙率も上昇し嬉しい結果となっております。これは警察関係者の努力と「安全・安心まちづくり旬間」に代表される地域住民、事業者、自治体等関係機関が警察とのより緊密な連携を図った結果であり、防犯活動を集中的かつ効果的に行うことにより、地域安全活動を定着化させた効果の表れであります。しかし、犯罪の中味を見ますと、国際的な経済不況の影響からか、犯罪の国際化が目立って来ており、凶悪かつ知的な犯罪が増加しております。『おれおれ詐欺』に代表される振り込め詐欺事件もその手口がますます知的に巧妙になってきており、警察官や金融庁等の職員などを騙る事案、国際電話による振り込め詐欺事案など新たな手口が出現しております。

本年は更に安全・安心な社会の実現を目指し、安全・安心な港・街づくりを推進していきたいと思います。何卒、横浜水上警察署をはじめ関係諸団体の皆様よりご支援ご協力を賜わりますようにお願い申し上げます。皆様のご健勝とご多幸をご祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

横浜水上警察署長
大塚　和久

新年明けましておめでとうございます。

社団法人横浜港防犯協力会の皆様には、平素から警察行政の各般にわたり、深い御理解と御協力を賜り、まことにありがとうございます。

昨年中は、「最高難度の警備」といわれたAPEC警備を成功させるため、皆様方には会議のたびに、御協力をお願いいたしておりました。お陰様で、会場の東側は海という厳しい条件の中、無事に任務を完遂することができました。APEC警備の成功は、偏に皆様方の深い御理解と暖い御支援の賜であります。この紙面をお借りしまして御礼を申し上げます。

さて、昨年の当署は、極端ではありますが、「APEC一色の一年」でありました。その様な中にありましても、重大な事件の発生や検挙がありました。

まず、五月の連休明けに発生しました、「鶴見中央五丁目鶴見川女性殺人・死体遺棄事件」であります。この事件につきましては、当署に特別捜査本部を設置しまして、APEC警備期間中も鋭意捜査を継続したところ、十一月二十二日に死体遺棄の容疑で犯人を逮捕することができました。

また、九月中旬には、県外から派遣された警察官が、当署管内であります赤レンガ倉庫の駐車場で、芸能人の男性と連れの女性の二人を麻薬及び向精神薬取締法及び覚せい剤取締法違反の容疑で逮捕し、大きな反響を呼んだところであります。この事件につきましては、二人に違法薬物を売り渡した男も逮捕し、現在も全容解明に向けて捜査を続けているところであります。

さらに十月初旬には、横浜港において人の足首一対が発見されましたが、この事件につきましても、真相解明を図っているところであります。

加えて、一昨年に発生しました金沢幸浦沖でのバラバラ殺人事件では、当署が逮捕した主犯格の男に対して、裁判員裁判では初となる死刑判決が出されたところであります。

このように、昨年はAPEC警備に主眼を置きながらも、地域社会の皆様により安全、安心を感じていただこうと、署員ともども励んできたところであります。

本年もいくつかの大きなイベントが予定されておりますが、昨年目標とした、「APEC警備完遂」の旗印を、本年は「みなと・よこはまの安全・安心」に替え、署員一丸となって皆様の御期待に添うよう努力して参る所存であります。今後とも、皆様の御理解と御協力を切にお願い申し上げます。

最後になりましたが、本年が皆様にとりまして、輝かしいものとなりますようお祈り申し上げ、年頭の挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

横浜税関監視部長
高橋　靖之

新年明けましておめでとうございます。

横浜港防犯協力会会員の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えになられたことと、心からお慶び申し上げます。

また、会員の皆様には、日頃より税関行政、とりわけ監視行政に対しまして、深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、皆様ご承知のとおり、横浜みなとみらい地区において、APEC首脳会議が開催されました。このAPECでは、各種警備等の諸対策がなされ、横浜港防犯協力会の会員の皆様をはじめとして横浜港で活躍する関係機関・団体等のご理解・ご協力によって、滞りなく行われたところであり、心より感謝を申し上げます。

さて、昨今、麻薬やけん銃の密輸事件に関することが報道で取り上げられることも多く、また、有害廃棄物、テロ関連物品、盗難自動車等不正輸出、知的財産侵害物品の流入など大きな問題となっております。

このような社会情勢の中、税関が行うべき取締対象は大きく広がりを見せ、これまで以上に水際での取締の重要性が高まっております。水際における不正物品等の流出入を阻止し、国民の健康と安全・安心・を守るという税関の使命が、益々重要になっており、年頭にあたり身の引き締まる思いであります。

横浜税関といたしましては、国民の皆様の期待により一層応えていくため、近年の麻薬密輸事犯の手口の悪質化・巧妙化に対し、今後とも取締関係機関と緊密な連携を図りつつ、厳しく水際取り締まりを行っていきたいと考えております。また輸出入貨物の国際物流の安全を確保しながら適正通関にも努めて参ります。横浜港を安全・安心な港として誇れるためには、官民一体となった取り組みが極めて重要であると考えておりますので、今後ともより一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、年頭にあたり、会員の皆様の益々のご健勝とご多幸をご祈念申し上げまして新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

横浜市港湾局長
金井　良樹

新年明けまして、おめでとうございます。謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

横浜港防犯協力会会員の皆様には、日頃から横浜港の振興・発展にご協力を賜りますとともに、防犯キャンペーン、年末の夜間合同パトロール、横浜港内の犯罪防止にかかる広報巡回活動など、港における各種犯罪の予防活動や防止に向けた啓発活動に、ご尽力いただき、安全な港づくりを推進いただいておりますことに厚くお礼申し上げます。

また、各種活動にご協力いただいている所轄警察署及び関係団体の皆様におかれましても、この場をお借りし、お礼申し上げます。

この様な取り組みは、横浜港防犯協力会をはじめ、港に関係される様々な団体が協力し活動することで、港の安全安心が確保されるものであり、日頃からの皆様の取り組みに改めて敬意を表する次第です。

さて、昨年十一月には、アジア太平洋経済協力会議（APEC）が横浜で開催され、主会場である横浜みなとみらい地区はもとより、横浜港内の各ふ頭などにおいて、過去に例がない最高レベルの厳重な警備・警戒が行われましたが、皆様のご理解、ご協力のもと、会議を無事終了することが出来ました。

また、昨年八月には、横浜港を含む京浜港が関係者の皆様のご協力もあり、国際コンテナ港湾の競争力強化を図るため、「国際コンテナ戦略港湾」に選定されました。アジア諸港の飛躍的な成長や、船会社による船舶の大型化と寄港地の集約化等により、我が国港湾の国際的地位の低下が危惧されており、横浜港のハブポート化実現のために今後、横浜港がリーダーシップを執り、全力で取り組みを進めてまいります。

戦略港湾の実現に当たっては、先進的港湾施設の整備、広域的な貨物集約、効率的な港湾経営などの推進に加え、「港の保安・安全」の確立もめざすテーマの一つであります。皆様と関係機関、市の官民の連携が益々重要になってくると考えておりますので、本年におきましても、安全な港づくりの推進のために、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、横浜港防犯協力会会員の皆様のますますのご発展とご健勝を心より祈念申し上げまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

新年のご挨拶

横浜水上交通安全協会
会長　渡邉　清治郎

新年明けましておめでとうございます。

横浜港防犯協力会の皆様には、ご家族お揃いで輝かしい新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

皆様には平素より、横浜水上交通安全協会の運営につきまして、深いご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、貴協力会は日頃より犯罪防止のための広報、啓発活動や、会社、事業所等への各種防犯活動を積極的に推進され、犯罪のない明るく住みよい街づくりに多大の貢献をされておられますことに対し、感謝と敬意を表する次第であります。特に昨年の秋にはAPECが横浜みなとみらい地区にて開催され、関係各位のご努力にて無事に終了できました事、お喜び申し上げます。

今後、みなとみらい地区の横浜赤レンガ倉庫や、大桟橋等にて多くの観光客が集中する場所が増え、週末

壁新聞にご利用ください。

には早朝から夜遅くまでにぎわうと思われます。このため多種多様な犯罪が発生し治安情勢は厳しく、貴防犯協力会の皆様の果たされる役割は益々重要性をおび、皆様方のご活躍に大きな期待が寄せられているところでございます。

横浜水上警察署管内では、交通死亡事故ゼロ記録は一、四二二日となりました。その連続記録を絶やさないためには、水上警察署としては万全の対策で望んでいただくことや、会員の皆様方の熱心なるご協力が必要とされます。

横浜水上交通安全協会といたしましては、交通安全を中心として、貴防犯協力会はもとより、県、市、中区、警察等関係機関のご指導、ご協力をいただきながら、交通ルールの遵守と交通マナーの向上に取り組むことを通じて、交通事故の撲滅に向けて努力する所存でありますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

年の初めにあたり、貴協力会ならびに会員の皆様方の益々のご発展とご健勝をご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

新年のご挨拶

横浜市中区長　中上　直

新年あけましておめでとうございます。

横浜港防犯協力会の皆様におかれましては、平成二十三年の輝かしい新年をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

藤木会長をはじめとする横浜港防犯協力会の会員の皆様方には、平素から横浜市政・中区政に多大なるご支援とご協力を賜りまして、厚くお礼を申し上げます。また、横浜港内の安全・安心な防犯対策の諸活動の推進に多大なる貢献をされていることに心から感謝をいたします。

特に昨年は、APEC（アジア太平洋経済協力）がパシフィコ横浜を中心とした、この横浜港周辺で開催されましたが、事件・事故等なく終了することが出来ましたのも、皆様のご尽力の賜物であります。今回は、都心部、また臨海部での開催ということで、安全面において非常に難しい環境の中での開催でありました。会場周辺は、日頃から多くの観光客が訪れる地域であるとともに、海からのテロの危険性がある地域であります。そのような状況下においても、開催前・開催中と一度も大きな事件・事故が発生しなかったのは、まさに皆様の日頃の、またAPECに向けた取組みが実を結んだ結果であると考えております。

また、皆様の活動地域は、中区でも最も会場に近接した地域であり、大きな緊張感、不安感があったことと思います。生活や活動にも影響が出たことと思いますが、APECが横浜で開催されることの意義をご理解くださり、開催中も、変わらずご支援いただいたことに改めて感謝申し上げます。

平成二十三年の横浜は、APECで挙げた大きな成果を活かし、MICE拠点都市として、飛躍を遂げる一年になります。

横浜港は、昨年、国際コンテナ戦略港湾として認定され、さらに近接の東京国際空港（羽田空港）が国際化されるなど、ますます横浜の顔としての役割が大きくなっております。開港の地として、百五十年余の間そうであったように、今後も横浜の発展をリードする存在であります。そして、その役割を担うためには、安全な港町を引き続き推進していく必要があり、今後とも皆様のお力が不可欠と考えます。

港を訪れる方々に、「来て良かった」「すばらしい港町だ」と思ってもらえるよう、引き続き皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

中区としましても、皆様と一体となって、各機関とも連携を図りながら、安全・安心な横浜港を築いてまいります。

最後になりますが、横浜港防犯協力会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝を祈念いたしまして、私の新年の挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

横浜海上保安部長　小川　泰治

新年あけましておめでとうございます。

㈳横浜港防犯協力会の会員の皆様方におかれましては、平成二十三年の穏やかな新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、会員の皆様方には常日頃から横浜海上保安部の業務に対しまして深いご理解とご協力並びにご支援を賜り、紙面をお借りしまして心から御礼申し上げます。

横浜港防犯協力会におかれましては、昭和二十二年六月に設立されて以来長きにわたり横浜港の安全・安心に大きく寄与されてこられました。ここに関係の皆様方のご尽力に対しまして、心から敬意を表する次第でございます。

さて、昨年は横浜海上保安部管内では、様々な事件や事故が発生しましたが、いずれも大事に至ること無く、また、記録的な猛暑が続いたものの、直接的な台風の影響や地震等の大きな自然災害もなく、横浜APECを除いて平穏な年でありました。

横浜APECは、会議場及び主要各国要人の宿泊施設が横浜港の海に面していること、主たる警備場所となる横浜港には年間約三万二千隻の船舶が出入りすると共に多数の水上バス・遊覧船等が日々行き交っていること、周辺に石油コンビナート等多数の危険物施設が立地していることなどから、海上における警備の重要性は極めて高く、更に、横浜港における市民の方々の日常生活や経済活動との調和を図りながら的確な警備をしなければならない極めて難度の高いものとなりました。

関係の皆様方の協力を得て一昨年から準備を行い、海上保安庁の威信をかけ全国各地から巡視船艇や航空機を集結させる等最高レベルの警戒態勢をとり、無事終えることができました。協力を頂いた関係の皆様方に対して改めて厚く御礼を申し上げます。

一方、横浜港を取り巻く環境としては、我が国港湾の国際競争力を強化するため昨年八月に横浜港をはじめとする京浜港が阪神港とともに国際コンテナ戦略港湾として選定されました。

これにより横浜港では国からの集中的な予算配分や施策が展開され、日本のみならず東アジア地域のハブ港湾として大きく踏み出すことになります。

横浜海上保安部としても、港勢の進展に併せ、支援や協力を惜しみませんので、今後ともよろしくお願い致します。

最後に年頭にあたり、㈳横浜港防犯協力会の益々のご発展と、会員の皆様のご健勝並びに本年が素晴らしい年になることを祈念致しまして、新年の挨拶とさせて頂きます。

新年のご挨拶

横浜港運協会　会長　藤木　幸夫

港湾人の皆様、新年明けましておめでとうございます。

横浜港にとって昨年は歴史上非常に嬉しいことが二つありました。一つはAPECを無事開催できたこと。もう一つは日本の港湾政策の根本を左右する国家の戦略港湾に横浜港が選択されたということであります。これら二つのことについて、新年の冒頭に申し述べさせて頂きます。

先ずAPEC、とにかくこの大事業を無事終了することが出来ました。結果として何も事件が起きなかったことは本当にうれしいことです。一週間以上にわたる長い開催期間を何事も起こることなく無事終了することが出来たのは、警察の関係者ばかりでなく会場となった「みなとみらい」地区の横浜港関係者が真剣に警戒・警備に全面的に協力をして頂いたお陰と感謝致します。正に横浜港防犯協会として常日頃から地道な努力を重ねてきたことが実った結果と実感しています。

APECはアメリカや中国、オーストラリアなど、アジア太平洋地域にある二十一の国・地域が参加し、この地域の経済の発展を目指して、貿易や投資がより盛んに行われるように貿易や投資、それらに関連する課題などについて話し合う会議です。経済大国日本にとって重要な国際会議であり、APEC／JAPAN2010を成功させるために、安全の確保が第一義的に必要とされました。それがここ横浜港で実現できたのです。これは誠に素晴らしいことでした。今回のAPECにおける安全の確保は横浜の世界におけるステータスを大きく向上させました。

また、横浜港は昨年八月六日、国土交通省から京浜港として国際コンテナ戦略港湾として選定されました。半年に及ぶ選定委員会の審議を経ての朗報でした。凋落が続く我が国港湾の起死回生のラストチャンスとしての国策港湾化の第一歩が踏み出されました。非常に厳しい競争の中から横浜港が選択されたのですが、実は戦略港湾としては、今後の実質的な取り組みが重要になってきています。国策の港湾として何をどうして行けば国際競争力を備えた立派な港になるか？が問われています。

本年は国際コンテナ戦略港湾の始まりの年です。重点的取り組み課題の中には安全・セキュリティーの確保が上がっています。重要なのはこれまで通り地道に安全の確保を行う活動をして行くことです。横浜港保安協会、横浜港防犯協会、さらに警察、海上保安庁、横浜税関、横浜検疫所などとの縦横斜めに亘る連携と我々港湾人さらには横浜市民が一体となって「みなと横浜」を守って行くことが大切です。横浜港湾人の皆さんと国際戦略港湾－横浜港の構築に当たって行きたいと思います。皆さんの普段のご協力を是非お願い致します。

謹賀新年

社団法人横浜港防犯協力会

顧問
藤木幸夫
松本吉弘
笹田照近
田端彰
原田龍次郎
酒井英治
外園賢治
井上幸仁
鈴江孝裕
花島孝明
臼井茂樹
吉岡啓二
小林淳一郎
菅井克枝
今田勲
藤木幸太
守屋秀信
岡本永興
魚谷憲治
片倉宏昭
藤木幸夫
大塚和久
中上直

相談役
上原千江子
中村拓

会長
藤木幸太

副会長
守屋秀信
小林誠司

常任理事
野田秀夫
松本雅己
片倉宏昭
松本大輔

個人（賛助）会員

（順不同・敬称略）

諸官庁ならびに諸団体より寄せられました年頭の挨拶掲載は紙面の都合上順不同となりましたことをご了承いただきます。〈編集部〉